



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2593号 2015.8.23 発行

ドリル1冊6000円、自由研究20000円… 夏休みの宿題代行業が流行るワケは？  
教師「すぐに見破れる」 産経新聞 2015年8月22日

「宿題代行します」「読書感想文どうぞこのままお持ちください」。夏休みも残りあとわずかか。近年では、インターネット上に宿題代行業者が堂々と看板を掲げるようになり、メディアに取り上げられるたび商売としての是非や、モラルをめぐって論争が巻き起こっている。「学年に合わせて使う漢字を制限する」「わざと回答を間違える」など、いかに“本人らしく”見えるか工夫を凝らす業者。教師たちは提出された膨大な量の宿題の中から代行されたものを見破ることができるのだろうか。(石井那納子)

小学生		中学生
1冊 6000円	国語や算数(小学生)、 数学(中学生)のドリル	1冊 7000円
400字 2900円	読書感想文	400字 3400円
—	英文翻訳	1文(ピリオド1つ) 100円
1作品 15000円	ポスター イラスト作成	1作品 18000円
6000円～	工作	6000円～
応相談 (他社の相場は 1～2万円)	自由研究	応相談 (他社の相場は 1～2万円)

※「ジーニアスアシスト」ホームページから

横浜市港北区に事務所を構える「ジーニアスアシスト」は、幼稚園から大学、社会人までを対象に各科目の宿題や課題、レポートなどの代行を行う。宿題は一問からでも受け付け、小学生の算数や国語のドリルは1冊約6千円。作文や読書感想文などは1文字につき6円で、400字以内であれば約3千円と手頃な価格設定も代行を依頼する人が多い理由だ。

工作は数千円、ポスター(絵画)や自由研究も2万円程度で引き受けるといい、今年の夏休みも小中高校生から約100件の依頼があったという。

同社の中川魁崇社長によると複数の宿題を組み合わせで依頼されることが多く、「1件あたりの合計は1～2万円。受験勉強や習い事に忙しい小学生か、大学生がメインで利用している」と話す。

同社では依頼者の学年に合わせて使用する漢字の難度を変えることで、代行と見抜かれない配慮をしている。同じ代行業者の中には筆跡を似せる、依頼者の性格や趣味を細かく調べた上で作文を書くなど“本人らしさ”を追求する場合も。

さらに、特別料金を払うことでコンクール入選レベルの内容に仕上げたり、わざと回答を1～2割間違えたりする依頼を受け付けるとうたう代行業者もインターネット上には見られる。

そもそも夏休みに大量の宿題を出す目的は、それまでに習った勉強の復習、学習の習慣づけ、普段はできない研究への挑戦などがあるとされる。

文部科学省によると、宿題は学習指導要領などで位置づけられておらず、地域で課題を統一しているケースもあるものの、ほとんどは担任教諭の裁量に任されているという。

神奈川県秦野市の吉田裕子さん(33)は、サッカークラブの練習に明け暮れる小学6年の長男の勇翔君(12)のため「試合に集中してほしかったので、作文の代行を依頼しようか本気で検討した」と明かす。母子家庭で夜間も仕事に出ているため、長男と一緒に宿題に向き合う時間が取りにくい事情もあった。

依頼をとりやめた理由は何だったのか。吉田さんは勇翔君が持ち帰った1学期の成績表を理由にあげ、「あきれほど国語の成績が悪かった。普段の生活を知る先生が見れば、代行業者に依頼したとは思わなくても他人が書いたことはすぐわかってしまうはずで、勇翔が気まづくだけだと思った」と苦笑する。

宿題代行について、教諭側はどう受け止めているのか。埼玉県内の公立小学校に勤務する女性教諭(31)は「本人がやっているかどうか見ただけでわかる。代行業者は保護者が手伝ったレベルとも違う」と指摘する。

専門のパソコンソフトを使えば、インターネット上に掲載されている無料提供作文や読書感想文をコピーペースト(切り張り)していないか判別することもできる。

ただ、不審に感じた場合でも確証が得にくいいため、保護者とのトラブルを避け何も言わないことが多いという。女性教諭は「あからさまな態度には出さないが、内心ではその生徒と保護者に対する信頼感はなくなる」と手厳しい。

約40年わたり小学生らの基礎教育に携わってきた、教育研究家の石川幸夫さん(63)は宿題代行の依頼が絶えない背景には、教諭側、家庭側それぞれに責任があると分析し「本来、宿題は生徒一人ひとりの能力に見合った内容や量にするべきだ」と訴える。

教師が事務作業に忙殺される現状は「一律に膨大な量の宿題が出される要因となっている」(石川さん)。また、共働き、片親家庭の増加により保護者が子供につきっきりで勉強を教えたり宿題を手伝ったりできる時間も減っている。

さらに石川さんは、近年指摘される学力格差の拡大も影響していると指摘。学校の授業についていけない生徒を例に「公式や理屈を十分に理解できないまま、家庭でも保護者にも手伝ってもらえず膨大な宿題を抱えたら何を考えるか。代行業者に依頼してなんとか終わらせようとするのは自然な流れ」といい、一律の内容で課せられる宿題が業者への依頼に拍車をかけていると警鐘をならす。

「普段できないことを経験するという意味では、家庭でのお手伝いも宿題として十分意味がある」と話す石川さん。「お遣いをさばれば家族は夕飯を食べられないこともあるかもしれない。家族の一員であることを認識し、責任感を育むには最適な課題。教師は代行を見抜けると自信をつけるのではなく、社会環境の変化にあわせた宿題のあり方についても真剣に検討すべき時代になっている」と述べた。

## 論説：中島潔さんの「地獄と天国」

佐賀新聞 2015年08月21日

### ◆家族一緒に見てほしい

いじめ、虐待、詐欺…被害者は弱い立場の子どもやお年寄り。何という時代になってしまったのか。「悪いことをしたら罰が当たるよ」「地獄に墮(お)ちるよ」と古くから受け継がれてきた日本の倫理観や、目には見えないものへの畏れを日本人が忘れてしまったからではないのか。画家中島潔さん(唐津市厳木町出身)が抱く現代への悲しみと怒りが、今回描いた「地獄絵」の世界の根底にある。

中島さんは「何でも効率化、簡略化されスピードが求められる。その結果、生きていくことさえも効率化され命の重さが希薄になっている」と懸念する。

画家人生の集大成と位置づけた京都・清水寺成就院へのふすま絵奉納が2010年。その直後、大病を患い、手術を受けた。死と向き合いながら、連日報道される悲惨なニュースに心を痛めた。

そうしたときにふと、子どものころ、母から見せられた地獄絵と、「誰も見ていなくても正しいことをしなさい」という母の教えを思い出した。周囲から“風の画家”のイメージにふさわしくないと反対されながらも、3年前、「現代に生きる画家として、現代の描き方で、次代を担う子どもたちへその教えや戒めを伝えたい」と地獄絵の制作を決意した。

県立美術館で開催中の展覧会「中島潔 “今”を生きる」では畳の大きさほどの5枚の地獄絵が展示されている。そこには鬼に釜ゆでにされたり、切り刻まれ業火で焼かれたり

する亡者たちの姿が描かれている。

その亡者たちは、生前に罪を犯して死んだ後に罰を受ける私たち一人一人の姿そのものなのだという。「人間は悪いことだと知りつつも、ついつい犯してしまうという悲しい性(さが)がある。だから、この地獄絵の中には、必ず自分の姿があるんです。それに気づき、これまでを見つめ直して生きていくことが大切なんです」

今回最もこだわったのは「地獄にも救いがある」ということ。最も重い罪を犯した者が落ちる「阿鼻(あび)地獄」の地獄絵の左上に「地藏菩薩(ぼさつ)」を描いた。仏教の教えでは地獄をさまよう亡者を救うのは地藏菩薩である。

これらの地獄絵は閻魔(えんま)大王がまつられ、古来「冥界への入り口」と信じられている京都府・六道珍皇寺(ろくどうちんのうじ)に今春、奉納されたものだ。ここには江戸初期の地獄絵が所蔵されていて、お盆の前などに公開される。京都では今でも地獄絵は身近なもので、子どもが物心つくと家族で見に来るといふ。しかも、こうした時世からか、若い世代の拝観者が増えている。奉納された中島さんの地獄絵は古い地獄絵に比べて親しみやすいタッチで描かれており、「平成の地獄絵」として後世へ伝えられていくことになるだろう。

地獄絵のコーナーには中島さんが理想郷、つまり心の中の「天国」と位置づける作品「心音(こころね)」も一緒に展示されている。佐賀の空の下、夢と希望を持って元気に育つ子どもたちが描かれている。「ふるさとでの普通の生活が一番幸せなんです」「人はだれもが地獄にも天国にも行く要素を持っている」。中島さんが地獄と天国の絵に込めたメッセージである。あと10日となった夏休み、ぜひ家族連れで訪れて生き方を、命の大切さを考えてみてほしい。(高井誠)

## 【主張】中1男女殺害 見守り社会で犯罪を防げ 産経新聞 2015年8月23日

夏休みが暗転したというにはあまりに惨(むご)い。

大阪府寝屋川市の中学1年の女子生徒が殺害され、一緒にいた同級生の男子生徒も遺体で発見された。ともに顔や手を粘着テープで巻かれ、女子生徒には30カ所以上の切り傷もあった。

45歳の男が死体遺棄容疑で逮捕された。鬼畜の仕業としか言いようがない。

まだ動機など犯行の詳細は判明しないが、無防備な子供たちをどうしたら守れるのか。突きつけられた課題に答えを見つけ出さなければならない。

逮捕の決め手になったのは、防犯カメラの映像だった。

女子生徒の遺体が発見された高槻市の現場周辺の防犯カメラに不審な動きをするグレーの軽ワゴン車が写っていた。大阪府警は幹線道路の防犯カメラの映像からこの車のナンバーを割り出して所有者の男を突き止め、さらによく似た男が柏原市内のコンビニで粘着テープを購入するのを確認した。

手間のかかる映像解析によって、複数の現場という「点」を「線」で結んだ。今回の事件は、防犯カメラが犯罪捜査に有効であることを実証した。

防犯カメラはターミナル、商店街、道路、コンビニなどいたるところに設置されている。しかし、行動が丸見えになることに「プライバシーの侵害」などと根強い批判がある。

本来は安全、安心をもたらしてくれるものである。そうした機能に目を向け、「監視社会」ではなく、むしろ「見守り社会」と積極的に評価したい。

もとより映像の管理と利用にはルールが必要である。また、設置場所や、防犯カメラの存在を知らせて犯罪防止に結びつける工夫も求められる。

一方、被害者の2人も防犯カメラに写っていた。それも最後に目撃されたのは、京阪寝屋川市駅近くの商店街で、未明の午前5時10分ごろだった。

夏休みとはいえ、中学生の男女がそんな時間に帰宅せずにいることを、誰も気にとめなかったのだろうか。子供を守るのは周囲の目であり、注意の声かけである。無関心であつ

てはならない。

逮捕された男は以前にも、男子中学生を車に連れ込み、粘着テープで縛って現金や携帯電話を奪う事件を起こしていた。再犯を防げなかったのが悔やまれる。

#### 社説：中学生2人遺棄 命救う手はなかったか 毎日新聞 2015年08月23日

大阪府寝屋川市の中学1年女子生徒が遺体で見つかった事件は、行方不明になっていた同級生の男子生徒の遺体も発見されるという痛ましい事態となった。

女子生徒の遺体が発見されてから8日後、府警は死体遺棄の疑いで45歳の男を逮捕した。男は女子生徒に声を掛けて、車に連れ込んだことを認めているが、面識はなかったという。徹底した捜査で動機や死亡の経緯を解明してほしい。

一方で、大人たちが子供の命を救うことができたのではないかという思いも残る。2人は今月13日早朝、自宅に近い商店街を行き来する姿が防犯カメラに映っているのを最後に足取りが途絶えた。その頃被害に遭ったとみられる。

中学生になると冒険心が生まれ親元を離れて行動したがるのはおかしくない。しかし、深夜や未明に外出している子供を見かけた場合、どう対応すればいいか。犯罪の被害に遭う危険があることを教えたり、注意を促したりする声掛けも必要ではないか。今回の事件は、子供の安全について地域ぐるみで考えるべき課題を与えた。

捜査を進展させたのは防犯カメラだった。女子生徒の遺体遺棄現場近くの国道沿いにあるコンビニなどの防犯カメラの映像を分析した結果、男の軽乗用車が事件に関与していることを突き止めた。男子生徒の遺体が竹林に遺棄されているのを見つけたのも、捜査員がその車の追跡を続けたからだ。

男子生徒の友人らはツイッターやフェイスブック（FB）などインターネット上で情報提供を呼びかけていたが、動揺は大きい。学校は生徒の心のケアを急ぎ、家庭訪問やスクールカウンセラーの増員などで心身の変化を見逃さない態勢を取ってもらいたい。

夏休みなど長い休暇が始まると、児童・生徒の行動に学校の目は届きにくくなる。教育委員会は子供の安全を重点項目に挙げるが、教諭らの対応だけでは限界がある。

神戸市長田区で昨年9月、小学1年女児が近所の男に殺害される事件があった。これを受けて市教委は、事件に巻き込まれないよう不審者らにどう対応するかを子供自らが考える防犯チェックシートを作成し家庭に配った。犯罪の危険性について家庭で話し合い、子供自身が「自分で自分のことを守る」という防犯意識を高めることが重要だ。自治会やPTAによる登下校時の見守り活動は全国各地に広がっている。学校、家庭、地域の連携をより強めたい。

いたいけさの残る中学1年生2人の命が奪われるという不条理を、社会全体で受け止める必要がある。

#### 社説：最低賃金／非正規雇用の処遇改善を 神戸新聞 2015年8月22日

パートなど全ての働く人の賃金の下限額となる最低賃金が、大幅に引き上げられる。

2015年度の地域別最低賃金を全国平均で時給で18円引き上げ798円とする目安を、中央最低賃金審議会の小委員会が決めた。兵庫県は18円引き上げ794円となる。

2桁台の引き上げは4年連続で、02年度に現在の方式となって以来、最大の引き上げ幅となる。

景気回復に加え、求職者1人当たりの求人数を示す有効求人倍率が約23年ぶりの高水準になるなど、雇用情勢の改善が引き上げの理由だ。安倍政権の強い意向も反映された。

最低賃金はパートやアルバイトなど非正規雇用の賃金水準に大きく影響する。今や労働者の約4割を占める非正規雇用は、低賃金で身分も不安定なケースが多い。処遇改善でワーキングプアの解消を急ぎたい。

最低賃金で働いた手取り収入が生活保護の給付水準よりも低い「逆転現象」は、ここ数年の引き上げによって是正された。とはいえ、ぎりぎりの生活水準に変わりはない。

中小や小規模企業の経営を圧迫するとして経営側は引き上げに慎重な姿勢が強い。人件費が増えるため、解雇や採用抑制など雇用が不安定化する懸念もある。

だが、今春闘で大企業は賃上げ率が2年連続で2%を超えた。大企業との賃金格差は広がるばかりだ。中小企業の人材確保のためには、格差拡大に歯止めをかける必要がある。

ただ、経営基盤の弱い中小企業の賃上げには国の後押しが要る。飲食業や小売業などはIT化など生産性向上の支援も必要だ。

地域間格差も広がっている。地域別最低賃金は都道府県ごとに決められ、全国最高の東京と、最低額の鳥取、高知などとの差は昨年度より3円広がり214円となった。

東京と神奈川が初めて時給900円台になる一方、高知など16県では700円に満たないままだ。その差は10年間で2倍の200円を超える。地域間格差を縮小して地方からの人材の流出を防ぎ、東京一極集中を是正しなければならない。

最低賃金並みの時給で働く人は300万~500万人、引き上げによる総雇用者所得の増加は400億~900億円とされる。パートなど非正規の処遇改善は消費支出を増やし日本経済にプラスとなるはずだ。

#### 「休眠預金」法案提出へ 福祉活用、今国会成立の公算大 朝日新聞 2015年8月22日

自民党の総務会は21日、10年以上お金の出し入れがないまま口座に眠る「休眠預金」を、難病の子供を持つ家族の支援など、民間の社会福祉事業に使えるようにする法案を国会に提出することを決めた。法案は超党派の議員連盟でつくっており、今国会で成立する公算が大きい。

最後の取引から10年以上たち、本人の所在が確認できない口座の預貯金が対象。議連によると、現在はこうした預貯金が年1千億円ほど生まれ、預けた人が名乗りでなかった約500億~600億円が、最終的に金融機関の収益として計上されている。

法案では、休眠預金の移管を受けた預金保険機構が、国が指定する中立的な「指定活用団体」に資金を交付。団体は寄付や助成の実績がある民間機関を通じ、福祉事業をするNPO法人などに活動資金の助成や貸し付けをする。移管された後も、預けた人が求めれば払い戻される。

休眠預金をめぐっては、民主党政権時代にも活用を検討したが、実現しなかった。昨年、自民、民主、公明などの議連が発足し、議論を続けてきたが、法案提出を前に、自民の一部から「国庫に入れるべきでは」などの声も出たという。議連の山本朋広・事務局長（自民）は「やっと了承を得た。今国会で通したい強い思いがある」と述べた。（豊岡亮）



#### 「そにやる」開所 障害者の就労を支援

河北新報 2015年8月22日

##### アクセサリ作りを実演するスタッフ

色麻町高城の旧加美よつば農協清水支店跡地に障害者就労支援施設「そにやる」が開所した。同町での障害者就労支援施設は初めて。

一般社団法人「そにやる」が運営。旧支店の1階を活用し、約98平方メートルに作業所、多目的室、

相談室などを設けた。スタッフは8人。

定員は、コーヒー豆の焙煎（ばいせん）、観賞植物の飾り付け、のこぎり刃の研磨修理を行う「就労移行支援」が6人、アクセサリ作りや観葉植物の鉢植え、荷造りなど企業からの請負作業をする「就労継続支援B型」が14人の計20人。コーヒー豆や観葉植物は

販売する。6日の開所式には町の担当者、スタッフら計15人が出席。秋生文昭代表理事は「利用者が使いやすく、楽しく作業できる施設にしたい」と話した。

施設利用は月～金曜日、午前10時～午後4時20分。昼食と送迎がある。体験見学も受け付ける。連絡先は秋生代表090（6628）7092。

### 色鮮やか 知的障害者3人が作品展

河北新報 2015年8月23日



#### 個性的な絵が並ぶ作品展

NPO法人「多夢多夢舎中山工房」（仙台市青葉区）が運営する知的障害者らの通所授産施設に通う障害者による作品展「k o k y u.（呼吸）」が青葉区のギャラリーくろすろ一どで開かれている。25日まで。

石川博基さん（31）と片平俊夫さん（25）、片寄大介さん（31）の手によるアクリル画約50点が並ぶ。多くは小型のキャンバスに自由に色を塗った作品で、新聞紙に描いた絵もある。

通所者が自由に絵を描くなどする同工房の「美術の時間」でできた作品から、芸術性が高いなどの理由で職員らが出品者を選んだ。職員の坂部認さん（25）は「3人は真つすぐに絵と向き合い、自然に描いている。色使いや筆遣いが実に個性的だ」と話す。午前11時～午後7時。25日は午後5時まで。入場無料。連絡先はくろすろ一ど022（265）1487。

### 障害者と地域交流 きょう栃木市でチャリティーイベント 東京新聞 2015年8月23日

栃木市都賀町白久保の公園「つがの里」で二十三日、障害者の就労支援に取り組むNPO法人ハートフルふきあげによるチャリティーイベント「吹祭（ふきさい）」が開かれる。

障害者と地域の交流を目的に行われ、六回目。公園内に設置する特設ステージで、テノール歌手新垣勉（あらがきつとむ）さんのライブや演歌歌手の歌謡ショーがあるほか、気球の試乗会や千本のろうそくをともすキャンドルナイト、花火の打ち上げも予定される。

景品が当たる抽選会や、よさこいなどを一緒に踊る企画もある。会場内には募金箱が設置され、来場者から寄付を募る。湯沢晴香実行委員長は「地域の方にはたくさん来てもらい、障害者と交流してもらいたい。夏の風物詩になれば」と話している。午後零時半～同八時二十分。入場無料。

### 機能改善へ集中訓練、リハビリキャンプに14人

佐賀新聞 2015年08月22日



トレーナーとともに体を動かす訓練に取り組む参加者＝唐津市鎮西町の波戸岬少年自然の家

脳性まひや自閉症、肢体不自由など、心身に障害のある子どもたちが集中して訓練に取り組み、機能改善を図る「佐賀心理リハビリテーションキャンプ」が、22日まで5泊6日の日程で、唐津市鎮西町の波戸岬少年自然の家で開かれている。

障害児（者）の保護者でつくる佐賀県若楠ふたばの会と佐賀県肢体不自由児協会が毎年夏に開き41回目。8～42歳の障害のある14人と家族が参加している。

訓練メニューは大学教授らが監修。心理学や幼児教育などを専攻する九州大大学院生や西九州大の学生らがトレーナーとして参加者とペアになり、手足のスムーズな動かし方などを丁寧に指導している。1時間の訓練を1日3回行うほか、集団療法も実施。集中して

継続的に取り組むことでより高い効果が得られ、保護者同士の情報交換の場としても役立っている。2人の子どもと参加している唐津市の広瀬留美子さん（48）は「トレーナーと信頼関係を築くことで、体を預ける怖さがなく安心して任せている。キャンプの効果を本人もわかっているようで、毎年欠かせないものになっている」と話す。

## レビー小体型認知症なのに「うつ病」 誤診の苦しみ 闘病記に

中日新聞 2015年8月21日

レビー小体型認知症をうつ病と誤診された経験を本につづった樋口直美さん＝千葉市内で



レビー小体型認知症なのにうつ病と誤診され、適切な治療を長期間受けられない人が後を絶たない。千葉市の主婦樋口直美さん（53）は誤った薬物治療に6年間苦しんだ後、正しい治療で回復した経験を闘病記にまとめ、「私の脳で起こったこと」（ブックマン社）として出版した。「うつで投薬を受けて症状が悪化した場合は気を付けて」と呼び掛ける。（山本真嗣）

樋口さんは2000年ごろから頭痛や不眠、だるさなどに悩まされ、41歳のときに総合病院の精神科でうつ病と診断された。だが、処方された抗うつ薬と抗不安薬を飲むと手が震え、頭がもうろうとするなど症状が悪化。何もやる気が起きず、上の血圧が70まで下がって失神することも。他人の言葉や視線が怖くて対人恐怖症になり、パートの仕事も辞めた。

薬が効いている実感がなく「薬をやめたい」と主治医に伝えると、主治医は「やめるともっと悪くなる」と逆に薬を増量。それでも「自分には医学的な知識がなく、勝手にやめることはできない」と飲み続けた。同じ病院で何人も主治医が代わる一方、うつ病の診断は変わらず、抗うつ薬治療は6年間続いた。

8人目の若い男性主治医がようやく処方を中断し、樋口さんが服用をやめると「すぐにもとの状態に戻った」。ただ、体のだるさや体温、血圧が激しく変動する自律神経障害は続き、別の診療所では甲状腺の働きが低下する病気と言われた。

認知症を疑ったきっかけは、テーブルのごみが芋虫に見えたり、寝室で気づ知らずの人が寝ているように見えたりする「幻視」を見るようになったこと。悪夢を見て叫んでしまうことも、本で読んだレビー小体型認知症の症状にそっくり。専門医を受診し、認知症と診断された。

初診から9年。少量の抗認知症薬から治療を始めると、幻視を見なくなり、徐々に体調が回復。漢方薬や灸（きゅう）、ジョギングなど体に良いと思えることはすべて試した。最も効果を感じたのが、人と会って笑うこと。「この病気はストレスで悪化する。安心して人と笑って過ごせば、症状は治まる」

治療を始める前は認知機能が低下し、簡単な引き算もできなかった。だが、2年間の治療で一部の自律神経障害を除き、ほとんどの症状は消えた。

その中で、誤診や処方薬による悪化に苦しんでいる人が少なくないことも知った。幻視が見え始めたころから、症状や思いを非公開のブログに書き続けており、今回、その一部を編集して出版した。

樋口さんは「認知症になっても工夫と努力で自立した生活を長年送っている人たちがたくさんいる。その大前提は正しい診断と治療を受けること」と話す。

うつ病と似た症状

レビー小体型認知症に詳しい総合上飯田第一病院（名古屋市）の鵜飼克行医師の話 この病気は不眠や自律神経障害、うつ症状など、うつ病と症状が似ており誤診されやすい。薬剤に過剰に反応しやすい特徴があり、抗うつ薬を処方して悪化した場合、レビー小体型を疑う必要がある。

**レビー小体型認知症** 異常なタンパク質が脳の神経細胞にたまり、「レビー小体」を形成。思考や知覚をつかさどる大脳皮質や運動をつかさどる脳幹など、できる場所によってその機能にさまざまな障害が生じる。患者は国内に約90万人おり、認知症の2割を占める。

#### 高齢者の一人世帯、貧富の格差開く…貯蓄二極化 読売新聞 2015年8月22日

財務省は20日の政府税制調査会（首相の諮問機関）に、高齢者の一人世帯で、貯蓄高の二極化が進んでいるとの分析結果を示した。

1994年と2009年で貯蓄高を6段階に分類して比較すると、「1500万円以上」が6・1ポイント増の33・0%で最も多く、「300万円未満」が2・4ポイント増の25・7%で2番目だった。財務省が「全国消費実態調査」（総務省）などをもとにまとめ、所得税の抜本改革を検討する材料として提示した。

高齢者の一人世帯は低所得化も進んでおり、年収300万円未満の割合は、94年の74・3%から09年に77・7%へと増えた。中里実会長（東大教授）は会議後の記者会見で、「家族というセーフティーネット（安全網）が低下し、現役時代の備えが不十分だと、（高齢者になって）生活が途端に苦しくなる」と述べた。高齢者（65歳以上）の一人世帯は20年に668万世帯まで増える見通しで、95年比では約3倍となる。開く貧富の格差をどう考慮するかは、所得税改革で大きな課題となりそうだ。

#### 既卒正規採用 1人数十万円助成 厚労省 企業に支給へ 東京新聞 2015年8月23日

厚生労働省は22日、大学や大学院を卒業した後も就職できず、職探しをしている若者を支援するため、正社員として採用した企業への助成金制度を設ける方針を固めた。卒業後3年以内の若者が対象で、1人当たり数十万円を支給する方向だ。2016年度実施を目指す。

政府は卒業後3年以内の若者を「新卒扱い」にして積極的に採用するよう企業に求めるが、既卒者採用に慎重なケースも多い。景気回復で人手不足感が強まっており、助成金で若者の雇用安定を後押しする。

厚労省は女性の活躍支援のため、男性の育児休業取得を促す助成金制度も新設する方針だ。「全員参加社会の実現」を掲げ、高齢者、障害者の就労も支援。16年度予算概算要求にこうした施策の経費を盛り込む。

大卒未就職者らを採用した企業への助成金の額は今後詰める。正社員としての採用に加え、新人研修などに積極的に取り組むことを支給条件とする。大卒や大学院修了までに就職できなかった人や、やむを得ず非正規社員として働く人、就職後すぐに退職した人などが対象になる見通し。

男性の育休取得率は14年度で2・3%にとどまる。厚労省は休みを取得しやすくなるよう職場の規則整備などに取り組む企業への助成金を設ける。高齢者の就労支援ではシルバー人材センターと経済団体などが連携し、就労機会をつくる事業を展開する。障害者の雇用対策として、担い手不足となっている農業での就労を支援。農業の専門家を就労施設などに派遣し、指導する。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

